



Walk with Children

めぐろ



せいび

206号
2024年11月

神の計らいは限りなく、生涯わたしはその中に生きる

典礼聖歌集52番 より

校長 シスター 小島 理恵

先日、学校では「慰霊の集い」を行いました。11月は、亡くなられた方々を思い起こし、永遠の安息を祈ると共に、生きている私たちの生き方を見直す良い時間を過ごすことができます。毎年、この日には一冊の絵本が朗読されます。今年はいのちの木」が読まれました。一匹のキツネの死を悼む森の動物たちが、悲しみながらもそれぞれのキツネとの思い出を語り合います。そうするうちに、動物たちの心は晴れやかになっていきます。そして、キツネが命を終えた場所からは一つの芽が出、やがて大きな木に育ち、森の中で生き続ける、そのようなお話でした。子ども達は、どんな感想を持ったのでしょうか。

私たちは、今、それぞれが神様からいただいた尊い命を一生懸命に生きています。

楽しく幸せを感じることはたくさんありますが、それ以上に思い通りにならないことやたいへんな体験、辛い体験もあるかもしれません。しかし、神様は、一人一人に、与えた命を大事にし、同時に自分だけではなく周りの人々の命をも大事にすることを望んでおられます。子ども達が、神様の望みを知り、そして生き、心豊かな人へと成長できることを願いつつ、これからも教育活動に邁進してまいりたいと思います。

コネッショナー

Conessione

～つながり～

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。

ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。



さあ、天まで届く塔のある町を建て、有名になろう。

創世記11章4節

教頭 細谷 勇太

父親講話をリスタートして、半年がたちました。金曜日の夜にお父様方が学校に集い、神父様の講話をお聞きし、分かち合いをしています。そして、分かち合いを通して湧き出たお父様方の疑問に、神父様がお答えいただく時間をもって会を締めくくります。

旧約聖書創世記11章の「バベルの塔」について扱う中で、「社会人として、成果をあげよう、結果を出そう、名を上げようと思うことは、仕事に打ち込む動機として間違っているということなのではないでしょうか。」という質問が挙げられました。家族のために精一杯社会で生きる者として、とても実感のこもった質問です。

人の持つ価値観を最も反映するもののひとつである「動機」が、結果を生むために重要なものであると同時に、同じ結果を生むとしても、どのような価値観に基づいた「動機」によって取り組むかが、結果以上に重要なものであることを学ぶことができました。参加された皆さんからは、「神父様のお答えから、神様のもとで生きる者として、いつも忘れてはならない大切なことを学ぶことができました。」と感想をいただくことができました。

10月の学校より

秋の遠足

1年 どちらも神様からの恵み

秋の遠足は雨のため校内遠足に変更し、紙飛行機選手権や、先生方が急遽考えてくださった「星美ランド」で大いに楽しみました。生活科の秋探しを林試の森公園に変更し、青空の下で木の実を拾い、秋を満喫しました。どちらも神様の愛をいっぱい感じた行事となりました。



3年 マクセルアクアパーク品川

3年生は秋の遠足でマクセルアクアパーク品川に行きました。たくさんの水の生き物に会い、その特徴について学びながらクイズを作成しました。イルカショーではイルカたちのパフォーマンスの迫りに圧倒されていました。



5年 高尾山

5年

10月4日、ぼくたちは遠足に行きました。今回の遠足は、高尾山登山でした。

登り始める時、雨が降り出して、登るのにすごく疲れしました。あとちょっとで山頂となると、さらに疲れが増してきました。その時、友達がはげましてくれて元気ができました。山頂に着くと、それまで雨がすごく降っていたのに急に晴れて、きれいな景色を見ることができて、感動しました。下山していると、また雨が降ってきて、山頂で晴れたのが奇跡のようでした。下山し終わると、みんなすごく気持ちよさそうな顔をしていて、ぼくは達成感を感じるとすごく気持ちいいのだなと思いました。

今回の高尾山登山は今までの遠足で一番心に残る遠足でした。



6年 マリア様への感謝

6年

9月27日に富士の聖母の巡礼へ、マリア様に6年間の感謝を伝えるに行きました。

マリア様の像は、思っていたよりも大きくてとてもきれいでした。私は、マリア様や神様に6年間楽しく学校に行けたことや、音楽会などの行事を振り返って感謝を伝えました。そして、これからの学校生活も楽しんで送ることができるようにお祈りしました。

私は、あと少ししかない学校生活、支えてくれている友達や先生にありがとうを伝えて、自分のやるべきことを考えて楽しく生活したいです。残り少ないからこそ、みんなとの時間を大切に生活しようと思いました。そして、感謝の心を忘れずに生活しようと思います。



4年 科学技術館

4年

秋の遠足で、科学技術館に行きました。特に心に残ったことが2つあります。

1つ目は大きなシャボン玉です。とても大きくて、友達と2人で中に入ることができました。中から息をふーとふくと、息のあたったところがふくらんでおもしろかったです。

息をふいてもなかなか割れなくて、びっくりしました。2人でがんばって息をふいてようやく割れました。

2つ目はクスリウムです。クスリウムは薬のことが学べるコーナーです。「くすり研究ラリー」というクイズがあって、グループで挑戦しました。いくつかまちがえてしまいましたが、楽しみながら薬について学ぶことができました。

科学技術館では、グループで仲良く見学しながら科学について学ぶことができてうれしかったです。



2年 秋の自然教室

目黒星美での初めての合宿でしたが、思いやりの心を大切にして、みんなで仲良く過ごす事ができました。

2年

私は秋の自然教室に行きました。合宿に行く前に、学校では事前指導がありました。色々な説明を聞いているうちに、ドキドキワクワクして、早く山中湖に行きたいという気持ちでいっぱいになりました。合宿が始まり、最初にパインズパークで学年遊びをしました。2つの遊びをして、何度か失敗してしまったけれど楽しかったです。ホテルでもいろいろな活動がありましたが、一番楽しかったのは、夜の集いです。なぜなら、夜にみんなで遊ぶことが初めてだからです。二日目が一番楽しかったのは、自然活動のクイズラリーです。班のみんなと協力して、ミッションをクリアすることができました。来年の合宿も楽しみです。

インターナショナルウィーク

イタリアウィーク

今年度2回目のインターナショナルウィークが開催されました。今回は、昨年度と同じイタリアです。ドン・ボスコが活躍していたイタリアは、本校にとってつながりの深い国です。事前には学年ごとに、国旗の色やイタリアの形から様々なものを想像したり、食べ物や建物、人物を調べたり、イタリアへの関心が深まる機会となりました。



5年

わたしは、イタリアウィークの告知を担当しました。5年生の各クラスから一人ずつ集まり、全校のみんなに楽しんでもらえるように告知も楽しくしようと計画しました。イタリアの国について考えていた時、『ピサの斜塔』を『ピザ』と勘違いしたことも台本に取り入れていくことにしました。本番の日までに何度も練習を重ね、4人でしっかりと伝えることができました。

イタリアウィークで行われたチャレンジカードは、イタリア語のお祈りが難しかったけれど、1日で先生方のサインを集められました。廊下で他の学年と“CIAO”と言ってすれ違うのも楽しかったです。何かに一生涯懸命取り組むことで、楽しさがさらに大きくなることを感じました。次のインターナショナルウィークもさらに楽しみになりました。

ロザリオの集い

ロザリオの集いは、本校で大切にしている祈りの時間です。朝8時から聖堂に集い、心を込めて祈ります。ドン・ボスコは、祈りが必要な時、必ず、マリア様に取り次ぎを願いました。子ども達が、ロザリオを手に心を込めて祈る姿の上には、笑顔のマリア様がいつも見守ってくださっていました。



6年芸術鑑賞会

6年

僕たち6年生は劇団四季の「アラジン」の観劇を楽しみました。ジャスミン姫の言っていた「経済が裕福だからといって幸せになるわけじゃない。」という言葉や、「人にしばられるのではなく、自分で進む道を選択し、楽しい人生を送るのが本当の自由であり、幸せである。」という言葉に感動しました。それは、僕たちの生活にも投影できる言葉だったからです。そして、特に面白かったのは、ジャファーの手下アブーの悪い笑い方や、ジーニーのふざけた言葉がとても面白かったです。

僕は「アラジン」を見て、これからの学校生活やこれから生きていく人生を、より楽しいものにできるように、時間を大切に、自由を持って過ごしていこうと思いました。

